

NEXCO東日本における 安全の取組みについて

令和6年6月26日

関東支社 技術部 技術管理課

あなたに、ベスト・ウェイ。



1. 重点安全項目を設定した取組み

会社としての取組み

- NEXCO東日本（以下「当社」といいます。）では、令和3年度より「管理事業、建設事業及びサービスエリア事業等の工事・作業を進めるにあたり、第三者（公衆）や工事関係者に影響する大規模な工事中事故の防止及び建設業界の担い手不足等の情勢を踏まえた現場従事者への安全な労働環境の確保は社会的要請であり当社の使命」として掲げ、「安全をすべてに優先する」ことを徹底し、工事受注者等と協働して、より安全で安心な労働環境が確保できるよう年度毎に「重点安全項目」を定め工事中事故防止の取組みを全社的に実施

（参考）過年度における“重点安全項目”

年度	重点的安全項目
令和3年度	令和2年の当社事故統計で型別労働災害発生状況が約5割を占める型を設定 ①建設機械等による「はさまれ・巻き込まれ」事故防止 ②足場等からの「墜落・転落」事故防止
令和4年度	令和3年の当社事故統計で型別労働災害発生状況が約5割を占める型を設定 ①運搬車両・維持車両等からの「資機材等の落下」による公衆災害事故防止 ②建設機械等による「はさまれ・巻き込まれ」事故防止 ③足場等からの「墜落・転落」事故防止
令和5年度	令和4年の当社事故統計で型別労働災害発生状況が約5割を占め3年連続で増加傾向にある型を設定 ①「はさまれ・巻き込まれ」事故防止

1. 重点安全項目を設定した取組み

令和6年度重点安全項目及び取組み事項

令和5年の当社事故統計で型別労働災害発生状況において、前年度の重点安全項目である「はさまれ・巻き込まれ」の事故件数が前年を上回ったことに加え死亡事故（※関東支社管内以外で発生）が発生したことにより、受発注者双方の安全管理に対する意識と方針について再考する必要と判断

① 作業機械による「はさまれ、巻き込まれ」の事故防止

※作業機械とは、作業で使用する建設機械(車両や重機など)及び電動工具など機械全般をいう

安全の取組み事項

1. 重点安全項目（作業機械による「はさまれ、巻き込まれ」の事故防止）に対する具体的な確認・実施事項

□ 作業機械による「はさまれ、巻き込まれ」の事故防止のため、以下に示す基本的な安全管理（受注者による必要な対策）について、現場で確認し工事中事故防止に努める

- ① 誘導員の適正な配置と合図方法の確認！
- ② 適切な施工機械の選定と正しい取扱方法の確認！
- ③ 各作業の手順並びに異常発生時の対応方法を全作業員で確認！



2. その他の取組み事項

重点安全項目に対する具体的な確認・実施事項のほか、当社では令和6年度に次の取組みを受注者とともに実施予定

- 2-1 規制中事故対策
- 2-2 受発注者が協働した安全啓発の取組み
- 2-3 熱中症対策
- 2-4 新規入場者教育
- 2-5 適正な人員の配置
- 2-6 通常作業が出来なくなった場合の対応の教育

2-1 規制中事故対策

近年、高速道路における交通規制において、一般車両が交通規制内に侵入し作業員が受傷する事故などが増加傾向であり、当社では全社的な規制中事故対策を実施予定です。

① 規制中事故防止啓発広報の継続実施

- 過年度よりサービスエリア等においてデジタルサイネージやトイレで掲示しているポスター等による規制中事故防止啓発広報を実施しており今年度も継続して実施

② 音・振動対策の拡大実施等

- 過年度より各地で実施している音・振動による一般車両への注意喚起に加え、工事規制テーパー部の事故対策について試行箇所を選定し現地に適用

2. その他の取組み事項

➤ NEXCO 3社による記者発表



令和6年3月27日
 東日本高速道路株式会社
 中日本高速道路株式会社
 西日本高速道路株式会社

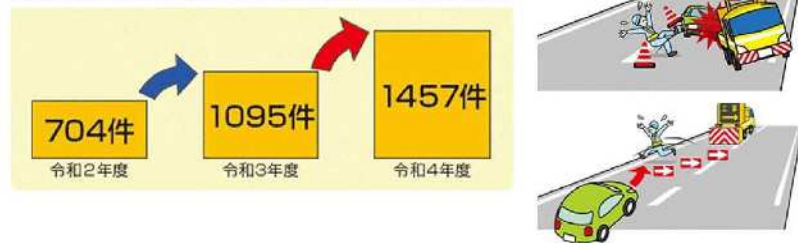
高速道路上での工事規制内への進入事故が多発しています！
 ～事故原因の約9割が前方不注視！前をしっかりと見て、運転に集中して！～

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社および西日本高速道路株式会社（以下、「NEXCO3社」という。）が実施している高速道路本線の上の工事規制箇所において、規制内にお客さま車両が進入する事故が多発しております。事故原因の約9割が「漫然運転などの前方不注視によるもの」ですので、高速道路を利用しお出かけされる際は、前をしっかりと見て、運転に集中していただき、安全なご通行をお願いいたします。

高速道路上での工事規制内への進入事故が多発しています！

工事規制内進入事故の内容は、規制先端部への衝突や接触、市線と並行する規制内への接触が主なものです。工事規制内に進入した車両により作業員等がはねられ死亡する重大事故も発生しています。

●高速道路での工事規制内進入事故件数の推移（令和5年NEXCO調べ）



工事規制内進入事故の約9割が漫然運転などの前方不注視によるものです！

NEXCO3社による分析の結果、漫然運転・わき見運転・居眠りや事故原因の約9割を占めることがわかりました。点検道路をご利用いただく際は、前をしっかりと見て、運転に集中していただきますようお願いいたします。

●工事規制内進入事故の原因（令和5年 NEXCO調べ※）



➤ NEXCO 3社連携広報物による啓発



チラシ等をNEXCO 3社で統一して訴求効果を向上

工事規制箇所通行時の注意点などを示した啓発資料を作成

NEXCO東日本HPにも掲載中

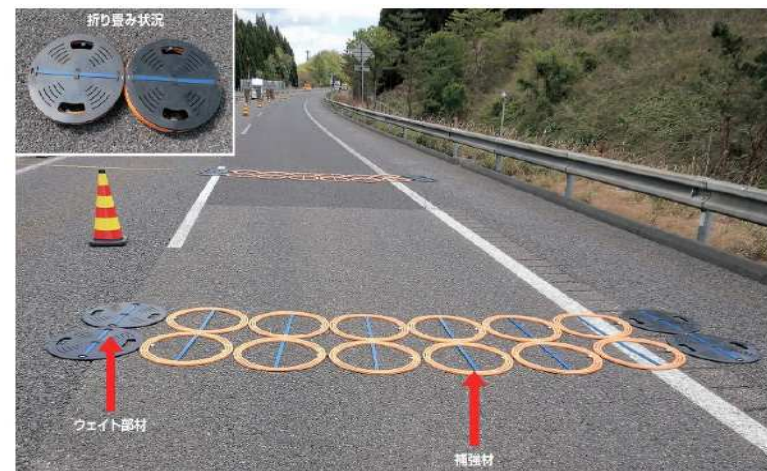
https://www.e-nexco.co.jp/activity/safety/detail_02.html

2. その他の取組み事項

➤ お客さまへの啓発広報（デジサイヤトイレ内ポスターの例）



➤ 音や振動等により体感に訴えかける対策の例



3. 関東支社の取組み

全社的な重点安全項目や安全の取組みのほか、関東支社では次の取組みを実施

- 3-1 工事安全管理会議の開催
- 3-2 支社による安全パトロール
- 3-3 工事中事故の再発防止対策の実施状況確認

3-1 工事安全管理会議の開催

- 関東支社の副支社長・部長・工事を担当する部署の課長等のほか管内の事務所副所長・グループ会社
が一堂に会して年2回工事安全管理会議を開催し工事中事故の発生状況や重点安全項目・安全の取組
みなどについて共有、それらの取組み状況の確認などを実施



3-2 支社による安全パトロール

- 安全協議会による安全パトロールや全社的な安全パトロールのほか事務所へ支社が臨場し安全パト
ロールを実施するとともに安全討議を実施



3-3 工事中事故の再発防止対策の実施状況確認

- 昨年度より工事中事故が発生した工事において再発防止対策を講じた内容が確実に実施されているか
支社が抜打ち的に臨場し確認を実施